

令和6年度 第1回 裾野市中小企業等振興推進会議 議事録

日時 令和6年12月17日(火)

13:30~15:10

会場 市役所5階 第一委員会室

出席委員:11名(渡邊昌志、田口建一、渡辺正高、堀口綾子、中川智敏、荻島昭章、三宅大介、
松林亨、室伏ゆり江、大嶋孝治、加藤豊)

欠席委員:1名(土屋秀之)

<配布資料>

別添のとおり

<会議内容>

1. 開会

事務局

- ・委員の委嘱についてよろしくお願いします。
- ・任期は2年。

2. 自己紹介

3. 議長及び副議長の選出

渡邊昌志委員を議長、中川智敏委員を副議長に決定。

4. 議事(報告事項)

(1)会議の役割とこれまでの経過について【資料1、資料2、資料3】

①事務局説明

②質疑

(A 委員)

ヘルシーパーク裾野の指定管理者が変わったとき、市内の業者が請け負っていた事業が、指定管理者変更後に事業に携われなくなったという声を聴いた。指定管理を募集する段階で、市内の業者を選定するという文言を入れて、公募するべき。

(事務局)

雇用、物品調達に関しては努力目標ではあるが、市内の事業者と取引するよう募集要項に載せている。

(B 委員)

資料にある振興施策は、冊子になっているのか。

(事務局)

振興施策は、委員の皆さんには冊子でお渡ししてるが、市のウェブサイト上ではPDFで公開している。

(B 委員)

市内の中小企業の方々に、振興施策について周知して欲しい。

市内の中小企業が実施した振興施策の実績を、数字等のデータで欲しい。

(事務局)

商工会の総会で配布している。

市の事業に関しては数値化できるが、他機関の事業については個別にどの振興施策を執行しているか情報を収集していないため、今後収集できるように努めていきたい。

(副議長)

振興施策(冊子)については、事業範囲が広い。施策について弱いところを出して、指標として達成度などを設定すれば、協議しやすい。

駅前商店街の区画整理工事の進捗の中で、各個店が事業継続するのか、廃業か、新しい事業者が参入するのかなど情報を知りたい。活性化、賑わいの創出は気になる。

(議長)

振興施策の具体的な実績があるとよい。

(2)令和 6 年度の事業について【資料4、資料5、資料6】

①事務局説明

・ベネフィ駿東について、裾野市商工会長が 2 市 1 町の理事長をやっている。

当市の会員が一番少なく、会員が多いほど事業が充実するため、引き続き周知をお願いしたい。運営の補助金を出したり、会員だと旅行も 6 割～7 割の金額で行くことが可能。

・技能功労者の推薦が減少している。該当の方がいたら商工会、市の方に連絡して欲しい。

・裾野ブランド品の活用について、スタンレーというゴルフの大会が行われた際、出店料を無料で PR した。また今年度はスーパーフォーミュラという、国内最高峰のカーレース団体と協定を結び、大会時に裾野ブランド品を展示し、PRを行った。

・新規事業として、就職相談会の実施が決定した。民間の就職フェアになると、多額の出展料がかかってしまうという悩みを伺っていたため、市単独での就職相談会を行う。現在 35

社が参加予定。委員の皆様にも高校、大学周りのPRをお願いしたい。

②質疑

(C 委員)

生徒が市内の企業にお世話になっている。進路状況は、就職と進学する生徒の割合が半々である。技術職やサービス系に就職する生徒が大半。総合学科であるため、就職先もバリエーションがある。東部地域に就職する生徒が多い。

(A 委員)

企業向けのメルマガについて初めて耳にした。実際何社登録しているのか。

(事務局)

40 社程登録している。

(A 委員)

市のHP等で、もっと周知をするべき。

普通自動車免許の取得しか認めない高校があると聞いた。業務にトラック等の準中型免許が必要な業務があるため、免許の取得に関する規制は廃止をお願いしたい。

(C 委員)

当校ではそのような規制はないが、求人票に必要な免許の種類の記事をしていただきたい。

(D 委員)

就職相談会の周知方法について、現在の若手はSNSを主に利用(Instagram、X)するため、もっとSNSを活用するべき。

(事務局)

広報誌に掲載するのと、チラシやポスターを配架していく。SNSはやっていく意向。周知にご協力願いたい。

(3)意見交換

(E 委員)

中小企業団体中央会の役割は協同組合を作って個々ではできない課題を解決する。工業団地組合、人材育成のための組合、近年は外国人労働者導入のための組合など。

省力化補助金については、人手不足の部分を機械で解決するもので、積極的にご活用いただきたい。

富士宮市では、BtoC 製品のPRを、事業者が協働で行っている。

静岡市の中央会では、長期的な人材確保の視点で小学生・中学生向けの工場見学(オープンファクトリー)のお手伝いを行っている。地元の人が地元の会社に定着してもらうのも大事である。

(議長)

新たな施策の提案や、市への要望あれば意見を頂きたい。

(F委員)

物価高騰対策支援金事業を行った結果、事業者から喜びの声を聴いた。

例えば住宅をリフォームする際に、市内業者を選定した場合の助成金や新商品の開発を行っている企業へ助成金を出す。また市の発注工事における市内業者の優先など。

(事務局)

事業の発注について、小規模事業者の発注制度がある。ただし登録が必要。市内業者への発注は、念頭に置きつつ業務に取り組みたい。

物価高騰対策支援金事業については、事業者の支援金の使途について教えて頂きたい。

市にとって商工会、観光協会は商工政策や、観光政策を施行する上で、非常に重要な団体である。引き続き協力をお願いしたい。

(E委員)

経営革新事業の補助制度を実施している市町は少数であるため、ありがたい制度である。

経営革新事業の補助申請は毎年どのくらいあるのか、また補助金は残額があるか。

(事務局)

毎年2~3件が平均である。残額は潤沢には残っていない。

(副議長)

市は経営に対する補助に対して強いが、創業に対する補助は薄い印象。創業支援についても話していきたい。市で中小企業の創業件数のデータも、仕入れてほしい。

(A委員)

裾野駅前について、テナントも閉店してしまうし、今後の発展に不安を感じている。

(G委員)

他機関の方々の生の声を聴けたのは良かった。岩波駅再開発の状況や、展開について知りたい。

(H委員)

賃上げの昨今、経営者として大変な中、若手の中途退職者の相談が増加している傾向。中途就職者も就職相談会に参加可能か。また、就職相談会の情報発信に協力したい。

(事務局)

就職相談会に対象者の制限は設けていない。

(I委員)

実家が鉄工所を経営していた。当時、NC 工作機械の設備投資に多額の金額がかかった。

NC 旋盤の技術を覚えたい若者がいたが、費用や時間の面で、学習が厳しい状況だった。

そういう部分に行政の支援があるとありがたい。

5. その他

(事務局)

次回振興推進会議の予定は年明け2月～3月に行う予定。

6. 閉会